

- 問1 インドネシア、タイ、ベトナムなど、東南アジアの10カ国が加盟し、地域内での経済協力や平和の維持を目指している組織の略称として適切なものはどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. NAFTA                      2. EU                      3. ASEAN                      4. APEC
- 問2 アジア西部に位置し、国土が広大な半島にあるという地理的特徴を持つ国はどこですか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. モンゴル                      2. スリランカ                      3. スイス                      4. サウジアラビア
- 問3 地理的な距離の近さや工業製品の生産力の高さを背景として、中国から日本への輸出額は約19兆円に達しています。この状況を説明する背景として、最も適切な内容を選択してください。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
1. 日本との間に自由貿易協定が締結されたことで、全ての農産物に対する関税が完全に撤廃されたため。
2. 広大な農地を活用した大規模農業により、小麦やトウモロコシなどの穀物を低価格で大量に日本へ供給しているため。
3. 広大な国土で生産される鉄鉱石などの鉱産資源が、日本の重化学工業を支える主要な原料となっているため。
4. 日本の多くの企業が生産拠点を移転し、現地で製造された製品を日本へ逆輸入する仕組みが整っているため。
- 問4 東南アジアに位置する、赤道付近の多くの島々から構成される国について説明した文として正しいものを、次の語句の中から一つ選びなさい。この国は東南アジアで最大の人口を抱えており、国民の約9割がイスラム教を信仰しているという特徴があります。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. インドネシア                      2. マレーシア                      3. フィリピン                      4. ベトナム
- 問5 西アジアの多くの国々で信仰されている宗教と、この地域で豊富に産出されるエネルギー資源を長距離輸送するために発達した、管状の輸送施設の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. イスラム教と貨物鉄道                      2. ヒンドゥー教と送電網                      3. イスラム教とパイプライン                      4. キリスト教とパイプライン
- 問6 東南アジアのタイなどで多くの国民に信仰されており、人々が朝の託鉢の際に僧侶へ食品や日用品などの寄付（布施）を行う文化が見られる宗教は何ですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. イスラム教                      2. ヒンドゥー教                      3. 仏教                      4. キリスト教
- 問7 アジア大陸の南部に位置し、インドの北側に東西にわたって連なる世界最高峰の山脈について、その特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 南アメリカ大陸の西側に沿って南北に長く伸びる、標高6000m級のアンデス山脈である。
2. ヨーロッパ大陸の南部に位置し、登山や観光地として知られるアルプス山脈である。
3. 北アメリカ大陸の西側を縦断する、険しい岩山が続くロッキー山脈である。
4. 標高8000mを超える山々が連なり、世界の屋根とも称されるヒマラヤ山脈である。
- 問8 アジア州とヨーロッパ州で世界全体の生産量の約8割を占めており、パンや麺類の材料として世界各地で主食の原料となっている農作物はどれか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 小麦                      2. 米                      3. サトウキビ                      4. トウモロコシ
- 問9 タイの1980年から2014年にかけての輸出の変化について、当時の統計資料に基づいた説明として、内容が正しいものを次の中から選びなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 工業化の影響により、米や天然ゴムなどの農産物の輸出額自体が1980年よりも減少した。
2. 輸出総額が大幅に増加する中で、機械類や自動車などの工業製品が輸出の主力となった。
3. 工業製品の割合は高まったが、輸出総額そのものは1980年から2014年にかけてほぼ変化していない。
4. 輸出の中心が工業製品に移行したため、タイは食料品を輸入に頼る国へと変化した。
- 問10 世界の資源と産業に関する近年の動向について、鉄鉱石の輸入シェアが世界全体の約7割を占める中国の状況を説明したものととして、適切な記述を選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 中国は鉄鉱石を大量に輸入する一方で、石炭や石油といったエネルギー資源については全く輸入を行っていない。
2. 中国は国内の資源だけで自給が可能だが、他国の経済を支援するために鉄鉱石の輸入をあえて増やしている。
3. 中国の鉄鉱石輸入量は世界最大であるが、日本の輸入量と比較するとその差はわずか数パーセントにとどまっている。
4. 中国は「世界の工場」としての役割を強めており、オーストラリアやブラジルなどから大量の鉄鉱石を買い付けている。
- 問11 タイとマレーシアの輸出上位品目の変遷をまとめた記録において、1980年時点と2016年時点の状況を比較した記述として正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. タイでは1980年に「米・野菜・天然ゴム」が上位であったが、2016年には「機械類・自動車・プラスチック」が上位となっている。
2. タイでは1980年代から一貫して機械類の輸出が最大であり、2016年にはさらにその割合が拡大している。
3. マレーシアでは1980年に「原油・天然ゴム・木材」が上位であったが、2016年には「米・野菜・天然ゴム」が上位に代わっている。
4. マレーシアでは2016年においても、天然ゴムと木材が輸出総額の半分以上を占める主要な輸出品のままである。
- 問12 インドには「カースト制度」と呼ばれる、歴史的な背景を持つ身分制度が存在します。この制度をめぐる現在のインドの状況について説明したものととして、正しいものはどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. イスラム教の教えに基づき、特定の聖地でのみ適用が認められている。
2. 憲法によって、身分による差別をすることが禁止されている。
3. 国の伝統的な社会構造として、現在も法律でカースト制度が公認されている。
4. IT産業などの急速な経済発展に伴い、法律によってカースト制度の呼称自体が廃止された。
- 問13 インドとブラジルの畜産業を比較した統計において、両国とも牛の飼育頭数は世界有数ですが、その利用目的には大きな違いがあります。ブラジルでは牛肉の生産や輸出を目的とした肉牛の放牧が盛んですが、インドでは食肉用ではなく、主に乳製品を得るための乳牛としての利用が中心となっています。インドでこのような特徴が見られる背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. イスラム教の教えが社会全体に浸透しており、牛と豚の両方の食用が厳格に禁止されているため
2. 政府が急激な経済発展に伴う環境破壊を防ぐため、家畜の食肉処理を法律で制限しているため
3. 国の伝統的な社会構造として、現在も法律でカースト制度が公認されている。
4. 国土の大部分が乾燥帯に属しており、肉牛を育てるための牧草が不足しているため